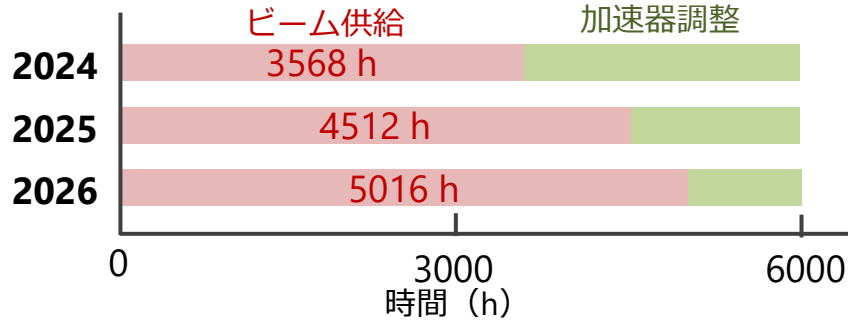


NanoTerasuの2027年度運転について

資料4
科学技術・学術審議会
研究開発基盤部会
量子ビーム施設利用推進委員会
(第11回)
令和8年6月24日

加速器運転時間（年間計画値）



- 運用開始以来、加速器調整とビーム供給を合わせた加速器総運転時間は年間約6000時間。
- 加速器の調整は順調に推移しており、2026年度にはビーム供給時間は年間約5000時間。
- 光源稼働率は運用開始以来99.6%を維持。

2027年度後半の加速器調整時間（約500時間）の内訳

施設の運用・維持・管理に必須の調整 約300 h	停止期間後のマシン立ち上げ	<ul style="list-style-type: none">● ライナック、蓄積リング立ち上げ● 故障機器などの動作確認● ビームラインの光軸確認
	ユーザー運転サイクル間の調整	<ul style="list-style-type: none">● 冷却水調節● 故障機器・トラブルなどの修理対応● ビームラインの光軸確認
	新規設置ビームラインの建設作業	<ul style="list-style-type: none">● 焼き出し● 放射線漏洩検査
将来の高度化のための研究 約200 h	加速器高度化のための研究	<ul style="list-style-type: none">● エミッタンス向上● 安定性向上

将来の高度化のための研究をSPring-8ダークタイムの期間は先送りすることにより、2027年度後半のビーム供給時間を約200時間増加させることを検討